○しまさゝきびノ學名ニ就テ (津山 尙)

小笠島デしまさゝきび又ハひめさゝきびト言ハレテキル一種ノ禾木ガアル。コノモノハ *Setaria Nakaiana* (HONDA) OHWI ノ學名ヲ有シ、小笠原島ノ固有種ト言フコトニナツテキルガ、實ハ屬中ノ Ptycophyllum節ニ屬シテキル **Setaria barbata** (LAMARCK) KUNTH (=*Panicum barbatum* LAMARCK=*Panicum costatum* ROXBURGH =*Panicum viaticum* SALZMANN) デアル。本節ハ廣クテ plicate スル葉ヲ有スルノガ特徵デ主トシテアフリカヲ中心ニ分布シテキル。本節ニ入ルモノハ日本產デハ *Setaria palmifolia* (WILLDENOW) STAPF さゝきび, *Setaria excurrens* (TRINIUS) MIQUEL こさゝきびガ他ニアルガ、イヅレモ似タモノデ、强剛ナ稍無毛ノ葉ヲ有シテキル。本種ハ之等ト異ツテ軟質ノ葉ヲ有シ、葉面ニハ上下共ニ脈ノ上ニ生ジテ橫方ニ臥スル細イ剛毛狀ノ毛ヲ稍疎ニ有シ、花序ノ軸ニハ軟毛及ビ稍剛毛狀ノ毛ヲ稍密ニ開出シテ有スルノガ特徵デアツテ、學名ノ barbata (毛ヲ有スル) ト言フノハ LAMARCK ノ原記載ヲ讀ンデ見ルト、コノ部ノ毛ノコトヲ意味スルコトガ判ル。上ノ2種ト異ツテ、一年生デアルコトモ注意スベキデアル。小笠原島ニハ比較的ニ近年ニ入ツテ來タモノト見エテ、父島ノ大村附近、母島ノ桑木山ノ路沿ヒ、及ビ中硫黃島ニ多ク他ニハ多クハナイ。初メ LAMARCK氏ニヨツテモーリティウスカラ報告サレタガ今デハ、アフリカハモトヨリ、印度、ジャバ、西印度、北米合衆國南部(フロリダ等)、ブラジルニ廣ク分布シテキル。LAMARCK 氏ハ本種ガ SONNERAT 氏ニヨツテ採ラレタト書イテキルガ (Encycl. Meth. IV, 735, 1796)、コレハ DÖLL 氏ニヨレバ (MARTIUS, Fl. Brasil. II–2, 155) ニューギニアデ採ラレタモノト言フコトデアル。尤モコノニューギニアガ今日ノニューギニアヲ意味スルノカ、又ハオーストラリアノ一部ノコトカ今ハ判然トシナイ。J. D. HOOKER 氏及ビ GRISEBACH 氏ニヨルト (Fl. Brit. Ind. VII, 56 及ビ Fl. Brit. West. Ind. Isl. 547) *Panicum flavescens* SWARTZ ノ名ノ下ニ記載サレテキルガ、コレハ當テ違ヒデアル。MERRILL 氏ハ *Panicum reptans* LINNAEUS ノ異名ノ下ニ LAMARCK 氏ノ學名ヲ引用シテキルガ、コレハ間違ツテキル樣デアル。尤モ PRESL氏ノ Reliq. Haenk. I. 299 ノ *Panicum barbatum* ノ記相文ヲ讀ンデ見ルト上記ノ LINNAEUS 氏ノ種ニアタル樣デアルカラ、MERRILL 氏ハソレニヨツタモノト思ハレル。

しまさゝきびハサウシテ見ルトフィリッピンニナク、又臺灣ヤミクロネシアニモナイ樣デアル。恐ラクジャバ方面カラ直接ニ他ノ有用植物ニ附着シテ輸入サレタモノト思ハレル。小笠原島デ充分ニ生育シタモノハ葉身ノ長サハ 35 cm 幅 2.5 cm ニ達スルガ、多クハ 7×1 cm 位デ、甚ダシク條件ノ惡イ時ニハ 3×0.2 cm ニモナルカラ一寸別物カト思ハレルコトサヘアル。ソノ樣ナイヂケタ個體ニモチャント花ガ開クノデアル。

以上ヲ書イタ後ニ LECOMTE 氏ノ Fl. Géner. Indo-Chine VII ヲ見ルト A. CAMUS 女史ガ *Setaria barbata* ナル組合セヲ作ツテキルノヲ知ツタガ、勿論コレハ不要デアル。女史ニヨルトトンキン、泰ニ分布シ、熱帶アジアニハ恐ラク輸入サレタモノデアラウト言フ。ROXBURGH ハ Fl. Ind. I, 314 デカルカッタノ植物園ニ 1802 年ニモーリティウスカラ輸入サレタト言ツテキル。原產地ニ就テハ色々ノ說ガアルガアフリカ方面デアラウト思ハレル。